

平成28年3月期（第19期） 第1四半期決算説明会

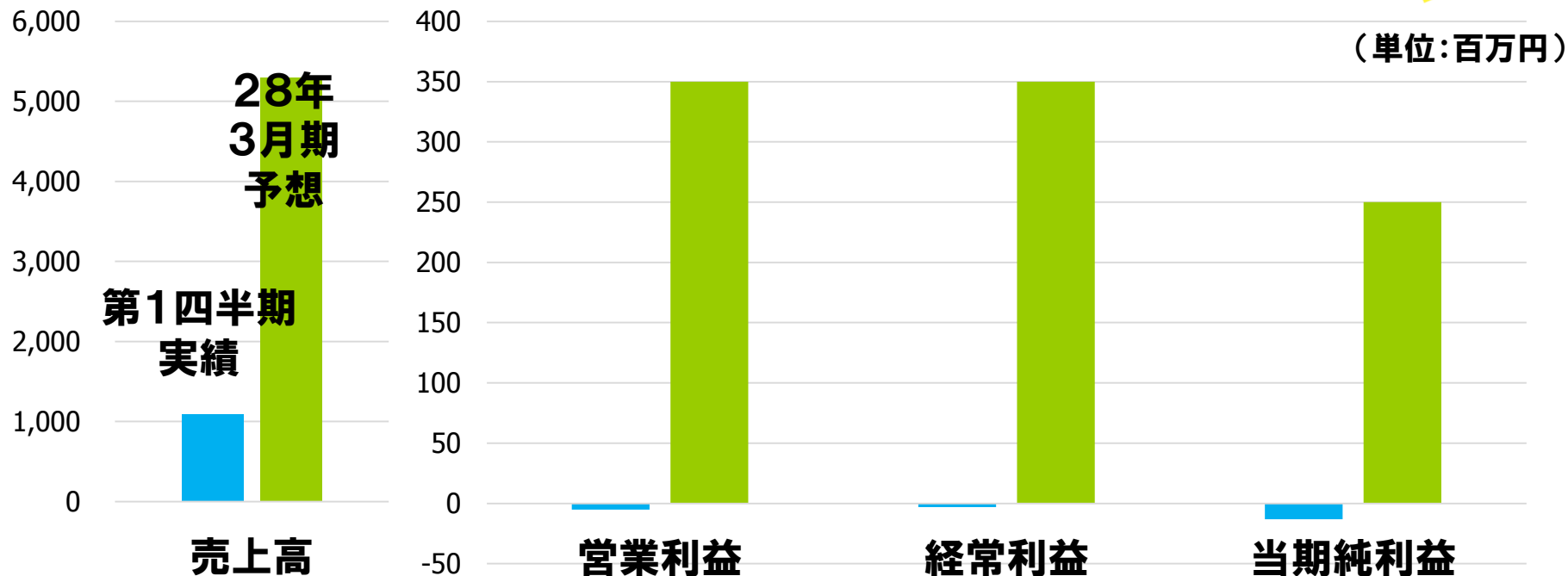
平成27年8月3日

株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



28年3月期 第1四半期実績ハイライト



	平成28年3月期				
	1Q実績	通期予想	進捗率	前期実績	対前期増減
売上高	1,089	5,300	20.5%	1,086	+0.2%
営業利益	△4	350	—%	33	—
経常利益	△2	350	—%	35	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益／純損失	△12	250	—%	28	—

四半期決算 連結損益計算書

	当期(H27 4-6月)	(構成比)	増減率	前年同期	(構成比)
売上高	1,089,107	100%	0.2%	1,086,434	100%
売上原価	645,722	59.3%	△1.8%	657,442	60.5%
売上総利益	443,384	40.7%	3.4%	428,991	39.5%
販売費及び一般管理費	448,176	41.2%	13.3%	395,733	36.4%
営業利益	△4,791	—	—	33,257	3.1%
経常利益	△2,893	—	—	35,568	3.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/純損失	△12,968	—	—	28,557	2.6%

内的要因

- ◆ 粗利率改善するも営業費用等支出増加に見合った売上に至らず営業赤字
- ◆ 子会社売上合計:335→312百万円と減少(映像制作子会社の売上減)

受注動向

- ◆ 子会社の映像(番組)制作関連受注が不振。
- ◆ 医療系の開拓進めるが前期並みとなり計画通りには進まず。

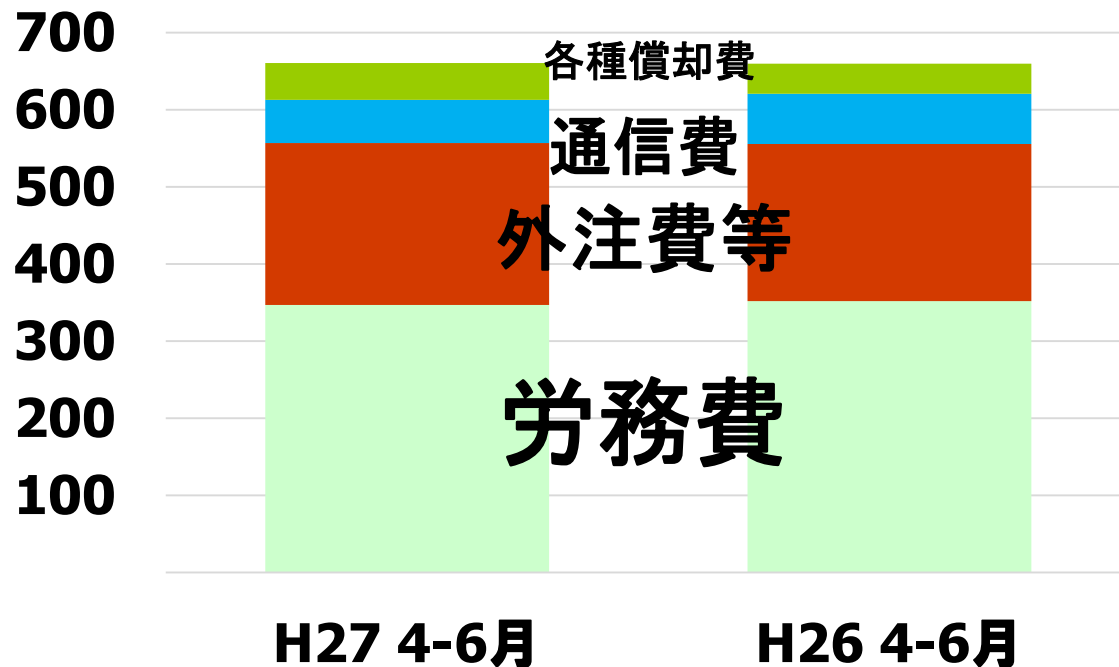
連結バランスシート

		H27,6月末時点	主な変動要因	前期末	前年同期
資産の部	流動資産	3,056,273		3,184,517	2,895,341
	固定資産	866,614		811,321	716,116
	有形固定資産	318,417		312,260	238,851
	無形固定資産	401,506		382,597	355,636
	投資その他の資産	146,691		116,464	121,628
資産合計		3,922,888		3,995,728	3,611,458
負債の部	流動負債	545,843		592,641	507,735
	固定負債	122,150		134,517	114,553
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241	626,241
		利益剰余金	693,502	706,070	448,294
		自己株式	△459,182	△459,182	△459,182
	評価・換算差額等	976	708	1,180	
	非支配株主持分	210,976	212,064	190,255	
	純資産合計	3,254,893	3,268,681	2,989,168	
負債・純資産合計		3,922,888		3,995,839	3,611,458

◆前年度末からは大きな変動なし。

(単位:千円)

売上原価(連結)主要項目



人的費用の合計
(労務費+外注費等)
557百万円
(前年度:555百万円
対比+0.2%)

連結従業員数 **336名**
(前年度:316名)

個別従業員数
(子会社への出向者除) **222名**
(前年度:200名)

H27 4-6月

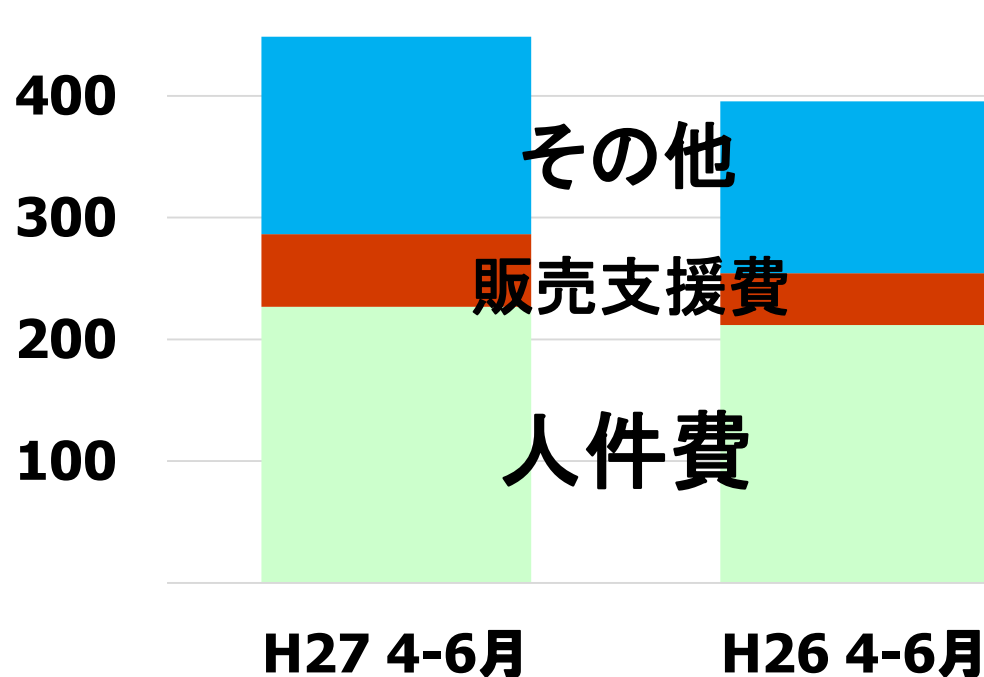
H26 4-6月

(単位:百万円)

	構成比		増減率	前年同期	
	当期(H27 4-6月)				構成比
労務費	347	53.7%	$\Delta 1.5\%$	352	53.5%
外注費等	210	32.5%	$+3.2\%$	204	31.0%
通信費	56	8.7%	$\Delta 13.9\%$	65	9.9%
各種償却費	48	7.4%	$+22.1\%$	39	5.9%
その他振替等	$\Delta 15$	—	—	$\Delta 2$	—
売上原価合計	646		$\Delta 1.8\%$	657	前年比 $+6.1\%$

- ◆ 科目別に見て前年対比大きな変動はない。
- ◆ 未成約の案件分の費用が販管費に計上されたこともあり前年比減少。

販売費及び一般管理費主要項目（連結）

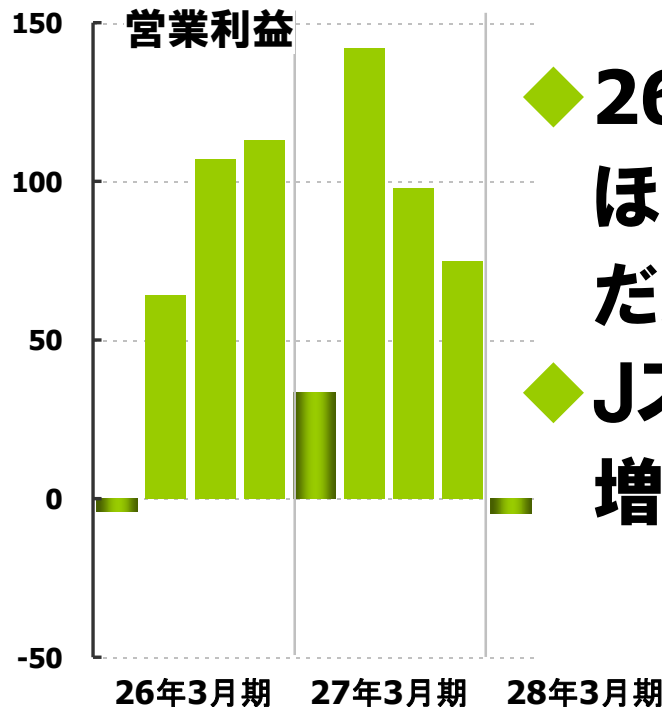
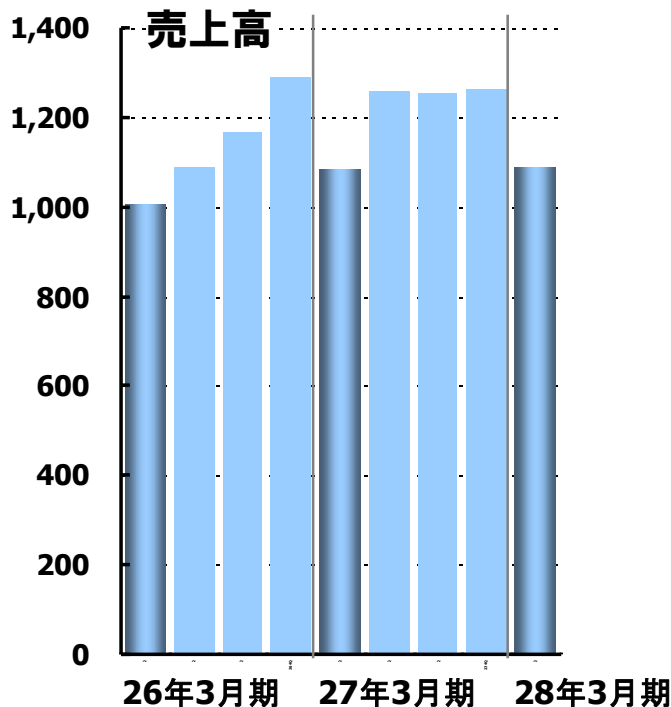


- ◆制作営業提案活動へ注力したことから販売支援費が増加。
- ◆その他の項目：人員増に伴い全般的に増加し販管費増となるが、特定の目立った費用要因はない。

（単位：百万円）

	当期(H27 4-6月) 構成比		増減率	前年同期 構成比	
	金額	構成比		金額	構成比
人件費	227	50.6%	+7.1%	212	53.5%
販売支援費	60	13.3%	+39.8%	43	10.8%
その他	161	36.1%	+14.4%	141	35.7%
販管費合計	448		+13.3%	396	前年同期比 +1.4%

四半期別売上、利益推移 (連結)

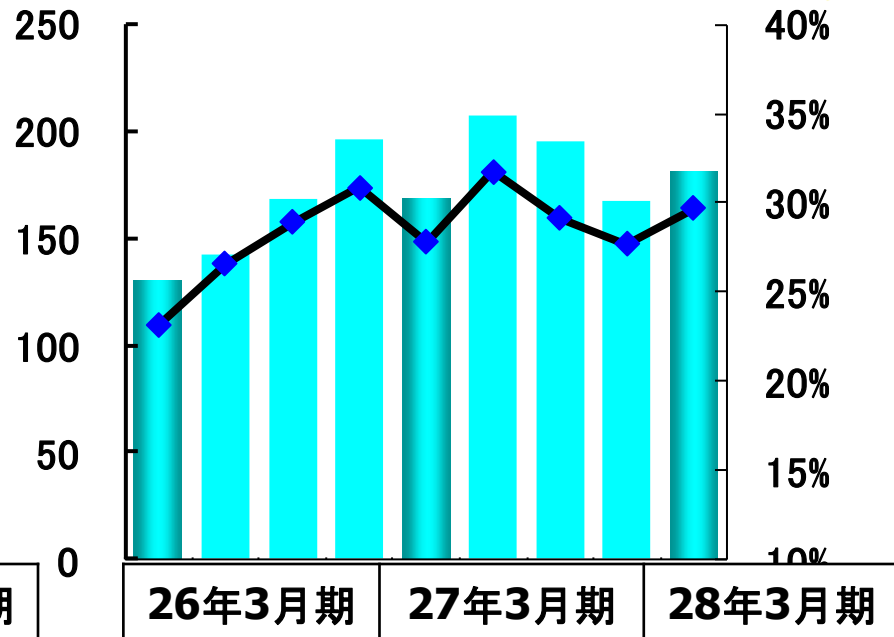
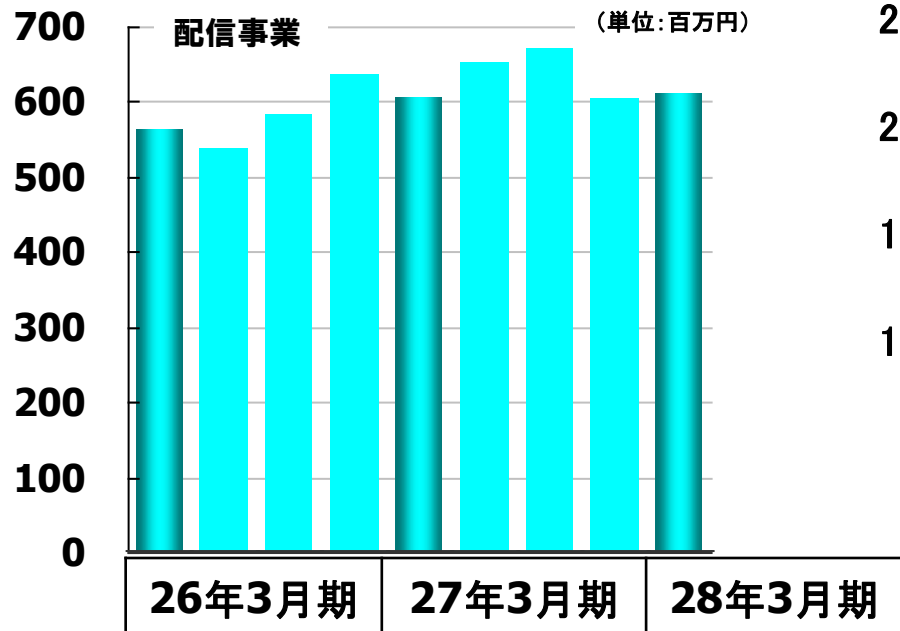


◆ 26.2Q、27.1Qと
ほぼ同じ売上規模
だが営業損失計上

◆ Jストリームの経費
増加が影響

	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q	28.1Q
売上高	1,005	1,090	1,168	1,288	1,086	1,260	1,256	1,262	1,089
営業利益	△4	64	107	112	33	142	98	75	△4
純利益	24	56	157	116	28	133	74	51	△12
売上高	2,095		2,456		2,346		2,518		
営業利益	60		220		175		173		
純利益	125		63		80		273		

セグメント売上・営業利益状況：配信事業

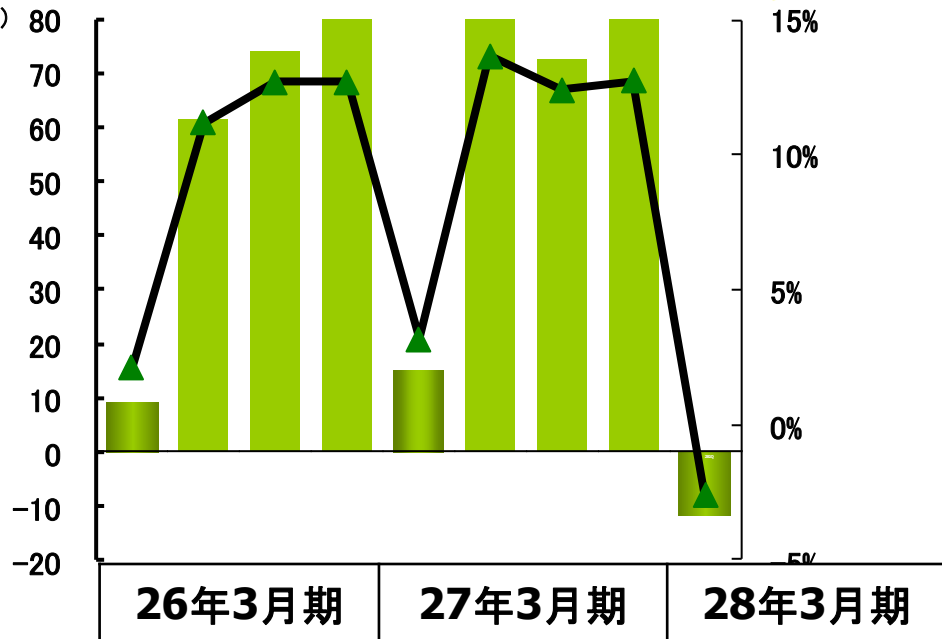
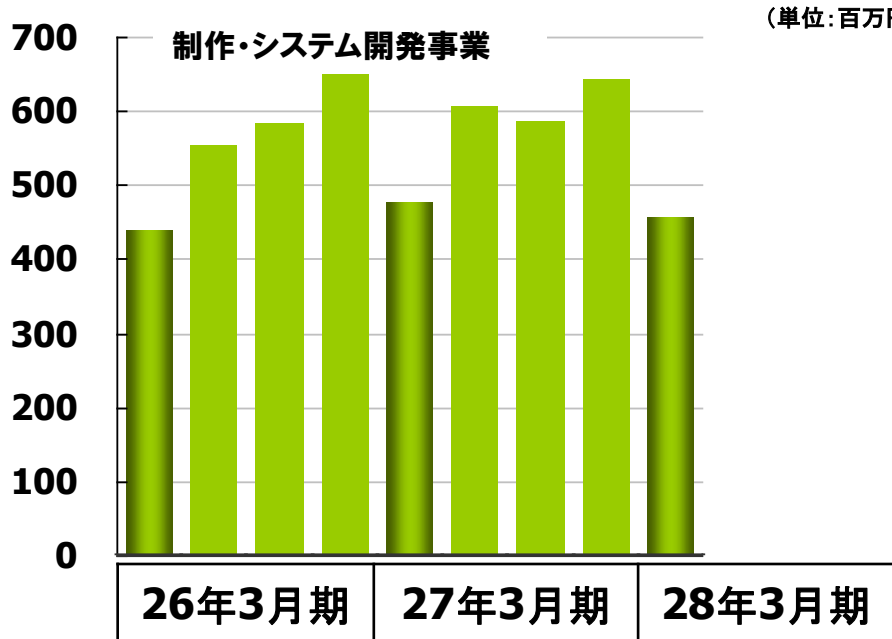


	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q	28.1Q
配信	563	535	582	635	606	652	670	604	612
	130	142	168	195	168	207	195	167	182
	23.1%	26.5%	28.9%	30.8%	27.8%	31.7%	29.1%	27.7%	29.6%

- ◆ 医療系の利用を中心としたライブは前期並みの売上。
- ◆ 単体のオンデマンド配信は前期比8.6%増

- ◆ Equipmediaを中心にオンデマンド配信を拡販。

セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業



	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q	27.3Q	27.4Q	28.1Q
制作	438	551	582	651	477	604	584	643	455
	9	61	74	83	15	82	72	82	△11
	2.1%	11.2%	12.7%	12.7%	3.2%	13.6%	12.4%	12.8%	△2.6%

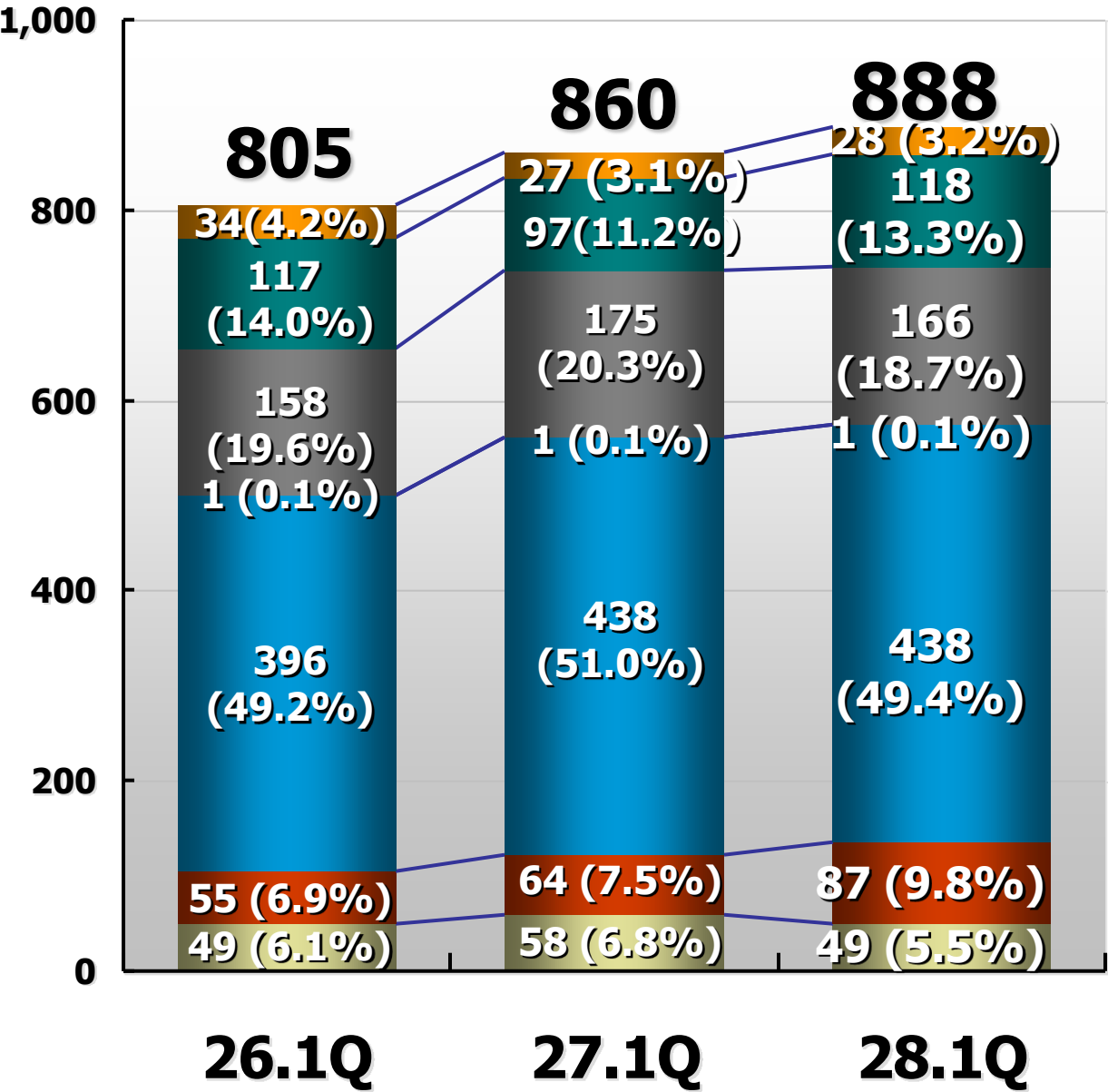
◆ 映像制作子会社の番組制作受注が不調。

◆ Jストリーム単体では前年と同水準

◆ 制作案件の受注増のために営業提案を増やしており経費増。

◆ 案件開拓体制整備／制作能力・スキルの向上を図っている

用途別売上比率 (個別)

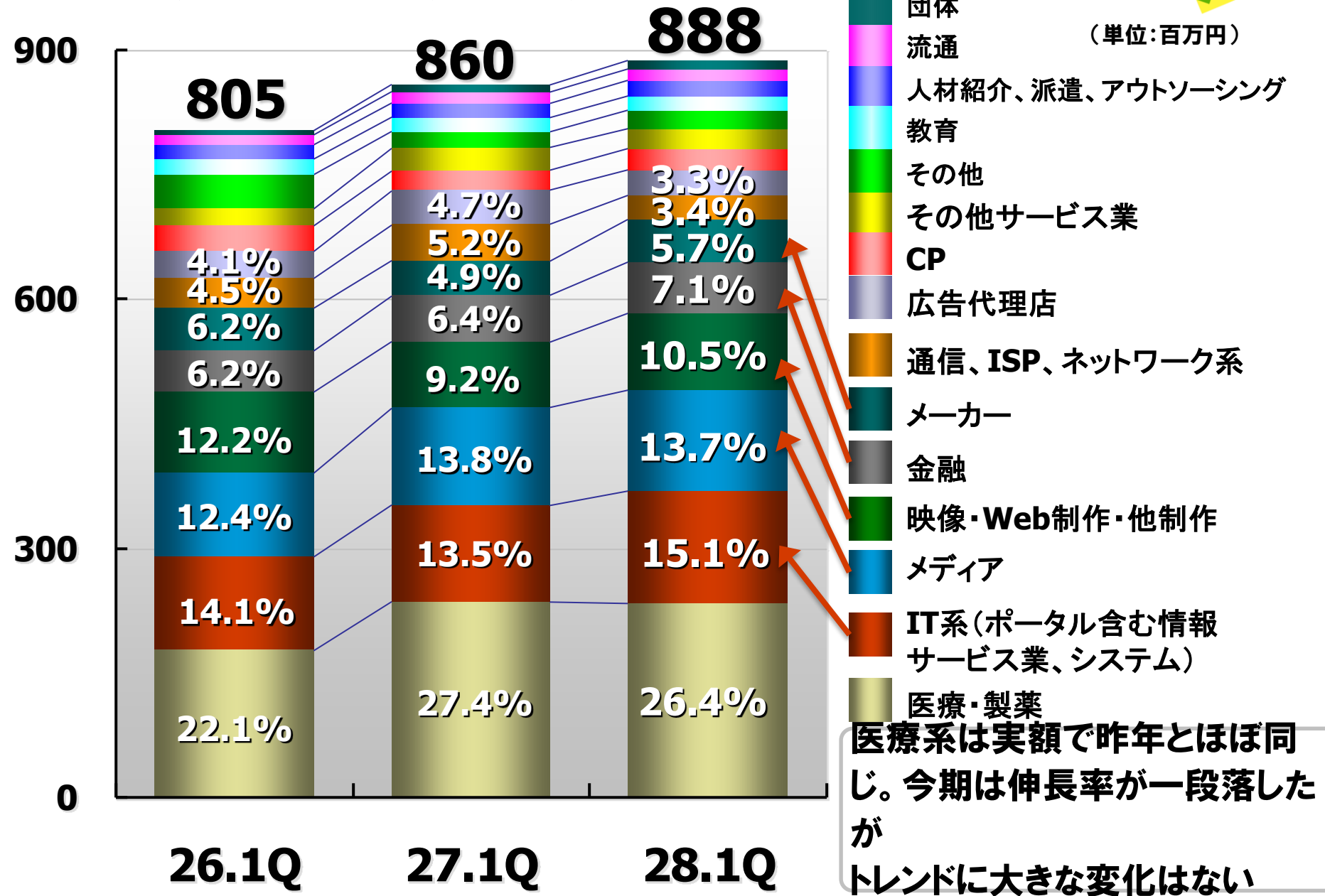


増減率

その他	+7.7%
エンターテインメント (音楽/映画/娯楽/スポーツ)	+21.9%
番組/放送局	△5.0%
ストリーミング広告	△26.1%
販促(商品紹介/CM/セミナー/イベント)	±0.0%
採用/教育/研修	+36.0%
会社案内/IR	△16.0%

(単位:百万円)

業種別売上比率 (個別)



医療系は実額で昨年とほぼ同じ。今期は伸長率が一段落したが
トレンドに大きな変化はない

設備投資計画(連結)

	投資項目	実施額 (年間予定額)
<p>28年 3月期</p>	<p>■ 配信事業関連 ネットワーク ハードウェア (3) Equipmedia、広告系等サービス投資 (56) ライブ機能拡充等各種サービス系 アプリケーション (10)</p>	<p>77 (415)</p>
	<p>■ 制作・システム開発事業関連 映像関連機器更新、増強 (5) 提供サービス関連ソフトウェア</p>	
	<p>■ その他(管理系含む) 本社増床、社内利用システム系HW 業務管理、会計管理システム等 (4)</p>	

◆ 従業員増加対応・職場環境改善のため増床実施(6月以降段階的に実施中)

最近のトピックス

もっと素敵な伝え方を。



SSL対応・動的ファイル対応の次世代 CDNサービス

◆ 配信管理コンソール

リアルタイム設定 & 統計: お客様自身でいつでも設定・変更でき、状況に応じたスピーディな対応が可能

◆ セキュリティに配慮したSSL(通信暗号化)対応

◆ 最新技術対応

各種の最新の高速プロトコル(通信手順)への対応や、高速なSSDストレージによる高性能サーバーを導入。今後登場する最新技術にも迅速に対応。

テレビ番組等の動画コンテンツ配信・収益化サービスの開発・販売でアドビ社と連携して取り組む

Adobe Primetime: 放送局や有料テレビサービスプロバイダー業界向けの動画配信収益化プラットフォーム
あらゆるインターネット接続デバイスに向けて著作権管理されたテレビ番組や映画などを配信し、ユーザー認証や広告挿入を行うことができる

NBCやComcast(米)、M6(仏)など多くの大手放送局や有料テレビサービスプロバイダーが導入実績あり。

28年3月期 今後の方針

もっと素敵な伝え方を。



**ライブ・Equipmediaを中心に
商品力強化・新規契約数を拡大**

**利益を確実に出せる体質強化を行い、
動画広告事業等、次の成長のための
布石を打つ**

重点戦略

- ◆ **配信サービスは引き続き契約件数増加に注力**
- ◆ **高成長したライブは医療領域依存から金融や社内情報共有等、新領域の開拓**
- ◆ **映像とWebの融合提案の強化、配信商材と組み合わせた運用提案の推進**
- ◆ **新規事業強化 → 動画広告の事業化推進**

業績予想値 ~変更なし

	平成28年3月期		
	1Q実績	通期予想	進捗率
売上高	1,089	5,300	20.5%
営業利益	△4	350	—
経常利益	△2	350	—
四半期純利益	△12	250	—

説明内容についてのお問合せ先

決算説明内容についてのお問い合わせは

【メール】

<http://www.stream.co.jp/contact/ir/privacy/>
(お問い合わせフォーム)

【電話】

電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)

よりお寄せください。